

## つながりサポート事業【大村市】

個別事業費	7,234 千円
交付金額	3,617 千円

## 地域の実情と課題

本市では、第3次産業に従事する人が76.4%で、うち85.6%が女性。令和3年の市民意識調査で、非正規雇用者の76.5%が女性。新型コロナウイルスの影響で女性の生活や仕事の不安が深刻化した。相談事業での相談内容の41.9%はDVや離婚関係。市民意識調査では、DV経験女性の約45%は「相談しても無駄」「我慢すれば何とかなる」などの理由で誰にも相談していなかった。令和3年から始まった相談事業の利用者数は毎年目標を上回る。若年層や高齢者の支援環境の整備とともに、女性が支え合い自己肯定感を高められる場の提供や、関係機関との連携強化が課題。

## 事業の特徴

- ・女性同士が互いに情報交換し支えあうピアサポートを開催
- ・他の行政機関や団体と連携して合同相談会を年2回実施(R7年9月・R8年3月)
- ・行政機関等の支援窓口への同行支援
- ・SNS等を活用した相談支援やイベント周知
- ・相談の一環として生理用品の提供や紹介
- ・ハローワークと連携した就労サポート(出張ハローワーク:ミモザおおむらで就労相談 5月~2月 1回/月)

## 事業の効果

- ・困難な状況にありながら、支援につながっていない女性に、社会とのつながりを回復できるような居場所を提供した。(R7年度居場所利用者 3,849人)
- ・ピアサポートにより、女性がひとりで困難や孤独を抱える必要がないことに気づくとともに、自分の経験や知識を他の人のために役立てることで、安心感や自己肯定感を持つことができる。(R7年度利用者734人/目標値840人 87%)
- ・女性用品の配布により、受け取る女性が自らの心身の健康について主体的に考え行動できるようになる。(R7年度実績 1,501人)

## 目的・目標

目標である利用者数3,000人を超え、悩みを抱える女性の居場所として定着してきている。

	目標・KPI	目標値 (時点)	実績 (時点)	達成率
(1) 事業目標	つながりサポート事業の利用者数	3,000人 (アウトプット)	3,462人 (R8.2)	115%
(2) 事業KPI	目標・KPI	目標値 (時点)	実績 (時点)	達成率
	ピアサポートを利用した延べ人数(アウトプット)	840人 (R7)	652人(R8.2)	78%

## 連携団体

【主催】・合同相談会(大村市国保けんこう課、大村市子ども家庭課、大村市母子寡婦福祉連合会、大村市社会福祉協議会、ハローワーク大村、大村市ボランティア団体、大村市包括連携協定締結保険会社等)

【参加】・大村市健康福祉まつり(大村市健康福祉まつり実行委員会)  
・夏越まつり延長開所(大村青年会議所)  
・本町アーケード夜市延長開所(商工会議所青年部)

## 今後の課題

悩みを抱える女性の居場所は一部の利用者に定着している一方で、利用者の高齢化が進んでおり若年層の参加が少ないため、多様な年代に対応できる支援体制の強化が必要であり、そのためには地域特性を踏まえ、開設施設外での活動や的を絞ったアウトリーチ活動を展開していくことが課題となっている。

# 事業の概要

内閣府

地域女性活躍推進交付金



大村市

委託

相談・支援機関  
(行政・学校・社協)

連携

支援の  
ネットワーク

NPO団体、ボラン  
ティア団体、各  
種行政機関など

連携・支援  
情報交換

## つながりサポート事業

大村市母子寡婦福祉連合会：**ミモザおおむら**：女性のための居場所

### 【ピアサポート】

女性同士が互いに情報  
交換し支えあう

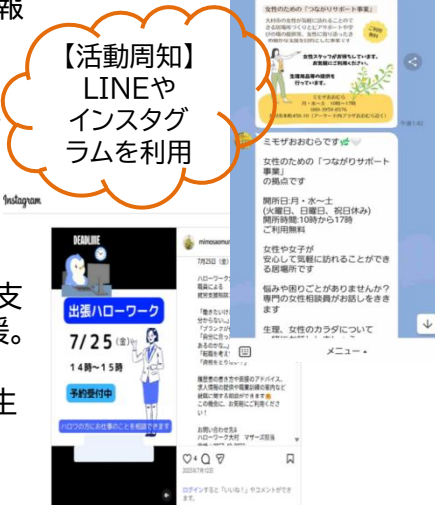
社会との繋がり回復・  
自己肯定を高める

困りごとなどを相談

行政機関等との連携支援・  
窓口への同行支援。

※相談の一環として生  
理用品の提供。

【活動周知】  
LINEや  
インスタグ  
ラムを利用



### 【スタッフスキルアップ研修】

5月研修



【他の行政機関や団体と連携した合同相談会】  
年2回実施(令和7年9月・令和8年3月)

R8.3合同相談  
ミライon図書館多目的ホール

